【記載例2 - 2】先の増改築等した部分に係る住宅借入金等と後の増改築等した部分に係る住宅借入金等の両方 の住宅借入金等について控除を受けるとき

控除額

次の算式により計算する(措法41 五口)。

┏住宅借入金等の┓

年末残高の合計額 └(最高 5,000万円)┘

× 1% [100円未満の端数切捨て]

┈ 設 例 ⋯

居住開始年月日 平成11年1月15日

増改築等の費用の額/うち居住用 7,000,000円/ 7,000,000円

住宅借入金等に関する事項

住宅借入金等の内訳

住宅のみ

年末残高(当初借入金額)

5,200,000円(6,000,000円)

居住開始年月日

平成14年11月15日

増改築等の費用の額/うち居住用 5,000,000円/ 5,000,000円

住宅借入金等に関する事項

住宅借入金等の内訳

住宅のみ

年末残高(当初借入金額)

4,900,000円(5,000,000円)

「控除額計算明細書]

	を屋に!	量に関する事項			土地等に関する事			事項					T				
居住開始年月日		平成	der	В		(घट प्रोट	4年	Е	\	居	住	開始自	5月日	9	平成山	年,月	15 ^H
各任务如平方日		T //X			P	(- / / / /				±00	改多	多等の費	用の額	ത	5,00	0,00	o F
取得対価の額	@				-	®									7.00		
総(床)面積	0				m	0			m²	\cup		居住用部		<u> </u>	17,00	0.00	
										伊	系るも	の金額が1 主宅借入金					
うち居住用部分の(床)面積	0					(D)			j	. ~		ます。.					
4 控除証明書	! の!	要否															
平成15年分以後 囲んでください		末調整	でこ	の控隊	を受	とけるか	こめ、控	e Roc til	明書の	交付を	- 要	する方は、	右の文字	をつ	> ₹	要す	- る
住宅借入金住宅借入金年末残高の合	等の	(3)	4.	別控	, 0	00		次の	※ 「信	E宅借	入金	(取得)等 表高の計算	特別控除	を付			
住宅借入金	等の計額	3	남. 5.	900	ر, و ک, ۵	00	n n	_	※ 「信	E宅借	入金	(取得)等	特別控除 等明細書」 を転記しま	を付いて		合には、	を
住宅借入金年末残高の合	等の計額:日等	(8)	남. 5.	900	ر, و ک, ۵	0000	n n	_	※ 「信	E宅借	入金	(取得)等 表高の計算	特別控除 等明細書」 を転記しま	を付 ます。 入金(円未)	取得)等	合には、 特別控 数切捨	を
住宅借入金 年末残高の合 居住の用に供した 平成11年1月1日	等 の 額:日等	3	け、 5. 住 章	90C 20C 宅 借 ミ 残	, 0), 0 入 高 の	00 00 金等	の計額		※ 「信	E宅借	入金	(取得)等 表高の計算	特別控除 等明細書」 を転記しま	を供える(取得)等	合には、 特別控 数切捨 円)	を
住宅借入金 年末残高の合 居住の用に供した 平成11年1月1日 居住の用に供した で成10年12月31日 居住の用に供した 場合の用に供した	等計 日等 以場 以場 以場	(a)	生 年 第 (3) (3) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	90C 20C 名 借 三 残 0,(C	7,000000000000000000000000000000000000	0000金等)合言	の ・額 - 円 : き	**************************************	※ 「伯 入金 計算:	E宅借	入金	を(取得)等 残高の計算 適の金額を	特別控除 等明細書」 を転記しま	を供える(取得)等 関の端 3 高50万F	合には、 特別控 数切捨 円)	を
住宅借入金 ² 年末残高の合 居住の用に供した 平成11年1月1日 居住の用に供した 平成10年12月31日 居住の用に供した。 正住の保に供した。 または、平成11年 日から同年3月31日	等計 日 以場 以場 1日	(a)	4、5 住 年 オ ③ 」 か2,	900 200 を 借 を 残 の,(0	7,0 入 高 の	00 00 金等) 合言	の 計額 円 : き 円	**************************************	※ 「付 入金 計算に	E宅借	入金	を(取得)等 残高の計算 適の金額を	特別控除 等明細書」 を転記しま	を付 を (金) (最)	取得)等 高50万F / , O	会には、 特別控 数切捨 可) 00円	を
住宅借入金 年末残高の合 居住の用に供した 平成11年1月1日: 居住の用に供した。 平成10年12月31日: 居住の用に供した。 または、平成11年 または、平成11年 または、年間に居住の用に 場合で「経過措置	等計 日 以場 以場1日供の額 等 後合 前合月まし計	a a 1 c a	生、 生 年 3 」 かが2, のか2,	900 200 200 200 200 200 200 200 200 200	7,0 入 高 の 円以	00000 金等)合言	の ト額 円 : き 円 っとき	× ×	※ 「位 入金 計算! 0.01	主宅借等の2	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を(取得)等機高の計算 でである個名	特別控除 等明細書」 を転記しま	を付 を (金) (最)	取得) 等 政得) 等 高 5 0 万 F	会には、 特別控 数切捨 可) 00 円 00 円	そ際を
住宅借入金 年末残高の合 居住の用に供した 平成11年1月1日: 居住の用に供した。 平成10年12月31日: 居住の用に供した。 または、平成11年 または、平成11年 または、年間に居住の用に 場合で「経過措置	等計 日 以場 以場1日供の額 等 後合 前合月まし計	(a) 2 (a) 1 (c) (a)	生、 生 生 (a) 」 (b) が2, (a) _ (b) が2, (a) _	900 200 名 借 を 残 の 000万	0,0	000 金等) 合言	・ が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	× ×	※ 「伯 入金 計算:	主宅借等の2	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を(取得)等機高の計算 でである個名	特別控除 等明細書」 を転記しま	を付 を (金) (最)	取得)等 高50万F / , O	会には、 特別控 数切捨 可) 00円	を
住宅借入金 ² 年末残高の合 居住の用に供した 平成11年1月1日 居住の用に供した 平成10年12月31日 居住の用に供した。 主なは、平成11年 またら同年の用に またら同年の用に 場合で「経過措置	等計 日 以場 以場1日供の額 等 後合 前合月まし計	(a) 2 (a) 1 (c) (a)	生、 生 生 (a) 」 (b) が2, (a) _ (b) が2, (a) _	900万000万	7,0 入 高 の 円以 円を	00 00 金 等) 合言 000 に下のと	所 ・額 ・円 ・き ・ 円 ・とき ・円 ・こき	× ×	※ 「台 入金: 計算: 0.01 0.01	主宅借等の2	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を(取得)等機高の計算 でである個名	特別控除 等明細書」 を転記しま	を付 を (金) (最)	取得)等 高50万F / , O	会には、 特別控 数切捨 可) 00 円 00 円	を
住宅借入金金年来残高の合計 居住の用に供した平成11年1月1日 店店住の用に供した。平成10年12年1日 1日 日本日本の用には12月31日 日本日本の間に年の周に年3月1に明年の間に年2月1日 日本日本の間に年3月1日 京都会で「経過措置である。	等計 日 以場 以場1日供の場 の額 等 後合 前合月まし計合	(a)	生 (年) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	900万	7,0 入 高 の,() 円以 円を	00 00 金 等) 合言 000 下のと	ド 額 円 : き 円 : き 円 : き 円	× × ×	※ 「台 入金: 計算: 0.01 0.01	生宅 借等の名	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を(取得)等機高の計算 でである個名	特別控除 等明細書」 を転記しま	を付 を (金) (最)	取得)等 高50万F / , O	会には、 特別接 数切捨 円) 00円 00円 1)	を
住宅借入金金年来残高の合語 任の用に供した 平成11年1月1日 居居住の用に供した 平成11年1月31日 居住の用に供した または、平成11年日から同任に供した。または、平年3月31日 から同じで「経過措置方法」を選択した 養選が出た を選択した。	等計 日 以場 以場1日供の場 被 質 後合 前合月まし計合 災	(a)	当5. 住年 オ ③ 」 のが2, のか2, のか1, のか1,	900万 2.0 C 2.0 C	7,0 入 高 の 円以 円を	00 00 金 等 00 下のと 超える	ド 初 円 : き 円 : き 円 : き 円 : き	× × × × 万円.	※ 「信 入金: 計算! 0.01 0.01 0.005	E宅借等の3年 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日本 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	を(取得)等機高の計算 でである個名	特別控除 等明細書」 を転記しま	を付 を (金) (最)	取得) 祭繭の端雪高50万F	会には、 特別接 数切捨 円) 00円 00円 1)	を
住宅借入金 年末残高の合 居住の用に供した 平成11年1月1日 居住の用に供した。 平成10年12月31日 居住の用に供した。 または、平成11年	等計 日 以場 以場1日供の場 被 質 後合 前合月まし計合 災		サ5. 住年 オ かだ2. のが2. のが1. のか1.	900 2.00 名 借 三 残 ○ 000万 000万	7,0 入 高 の 円 以 円 足	00 00 金 等 00 下のと 超える	F 額 円 : き 円 : き 円 : き 円 : き 円 : き 円 : 5 円 : 5 円 : 5 円 : 5 円 : 7	× × × × 万円.	※ 「信 入金: 計算! 0.01 0.01 0.005	E宅借等の3年 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日本 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	を(取得)等 表演の計算 (取の企額を (取の)の企額を (取の)の (取の) (取の)	特別控除 等明細書」 を転記しま	をす。	取得) 祭繭の端雪高50万F	会には、 特別接 数切捨 可) 00 円 可) 00 円 の0 円	を

(注) 申告書第二表の「特例適用条文等」欄には、先の増改築等した部分に係る居住開始年月日と後の増改築等 した部分に係る居住開始年月日のいずれも記載する。